

第3回 新潟市花育推進委員会 会議概要

| | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時 | 平成 22 年 6 月 4 日（金）午後 2 時～4 時 30 分 |
| 会 場 | 新潟市園芸センター研修室 |
| 出席委員 | 今西委員，加藤委員，楠田委員，杉山委員，関委員，丸山委員，森田委員， 四柳委員 |
| 欠席委員 | 伊藤委員，真木委員 |
| 傍 聴 者 | なし |
| 事 務 局 | 園芸センター（永田所長，戸田副主査，木村技師） 関係課 農村・都市交流施設整備課（秋山課長，瀧澤係長，本間主査） 食と花の推進課（小竹主査） 公園水辺課（野崎主査） 環境政策課（伊藤主査） 保育課（三富指導保育士） |

1 第2回花育推進委員会の内容確認について

◎資料 1 により，第 2 回花育推進委員会における意見に対する対応状況，資料 2 により新潟市花育推進計画の数値指標の現状値を事務局が説明

○委員意見

<園芸相談について>

- ・現状は限られた人達が利用している。今後は，知名度を上げるとともに，全庁的に横のつながりをもって，園芸センターの相談業務を紹介してもらう仕組みにして欲しい。

<花育事業・情報について>

- ・食育・花育センターができた際には，花育事業・情報を一本化してもらおうと対応しやすい。

（事務局より）

- ・食育・花育センターができれば，情報の集約化を図っていく旨説明。

2 平成 22 年度花育推進事業について

◎資料 3 より，平成 22 年度花育推進事業の主な取り組みを説明。

○委員意見

<生産・流通・小売業者等に対する花育マスターとしての登録・育成について>

- ・生産現場と結びついた花育は必要であり，この事業が充実することが重要である。
- ・生産，流通，小売と関わる者すべてが関わるような仕組みづくりが必要。

<花育通信について>

- ・内容について，硬い内容にならず，子どもたちが興味を持つような目線で考えて欲しい

い。

<園芸福祉について>

- ・手法について、市が独自に実施するのは難しいと思うので、園芸福祉を推進している団体の活動を、新潟市の花育活動の一環として位置づけることも検討してみてはどうか。検討課題である。

<歴史講座について>

- ・現在の事業計画のクイズを使った手法もあるが、それだけでは伝えきれない部分もあり、やはり講演の開催が必要では。
- ・講師のリストアップする等準備して欲しい。

<緑化コンクール・オープンガーデンについて>

- ・家庭部門を対象にするのは困難。地域部門，事業者部門であれば緑化に意欲的であり否定的にはならないと思う。(事務局より)
- ・今後の検討課題に。

<その他>

- ・花育事業の取り組みと言うと、園芸センターを中心に新潟市が主催するというイメージがあるが、市民レベルの活動も実は豊かであり、その活動を花育事業として取り込んでいく必要もあるのではないか。

3 (仮称)食育・花育センターについて

◎資料 4 により、(仮称)食育花育センターの概要を説明し、それに対する意見交換を行った。

○委員意見

- ・コンセプトは何なのか、コンセプトがありそのために何をするのかという切り口を持ちながら計画することが必要である。
- ・例えば開館時間も、8時から5時までのようにしないで、時期別に柔軟に対応すべきでは。
- ・参考資料として他の施設の詳しい資料があると良い。
- ・講座室，研修室について、夜間も利用できると良い。
- ・市民が体験できるスペースがあると良い。
- ・入場料無料はありがたい。(貸し館は有料の旨事務局から説明)

※内容の検討，意見交換の方法等について，臨時の花育推進委員会の開催も含めて今後検討。